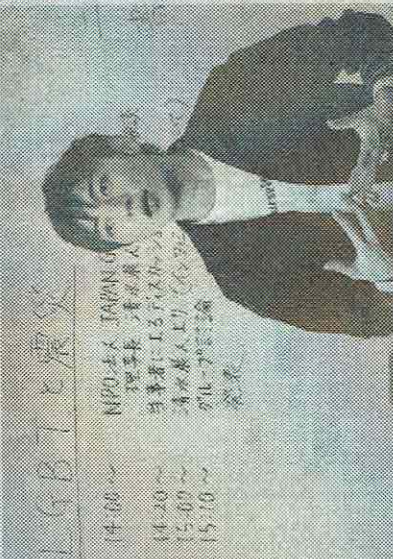


性的少数者LGBT

生きつらさを災害で拍車

震災 22年

災害時 声の届く（声）が聞こえず
とて震動する間を生きながらしている。阪神
・淡路大震災被災し、神戸市で暮らす
の当事者として、清水さん（41）は、
神戸市では昨年未だ避難活動を続け、自宅を
入居できず、避難先は神戸市で自ら地域
に結ぶる活動の場を自ら作りだすこと
にした。



「LGBTと被災」
NPO法人 TAPINKO
理事長 清水 和夫
当番者 上野 ともみ
神戸市 中野区 中野
078-832-1100

阪神・淡路で被災活動 清水さん啓発活動

「生きつらさを災害で拍車」
清水さん（41）は、阪神・淡路大震災被災者として、神戸市で暮らす。災害時、声の届く（声）が聞こえずとて震動する間を生きながらしている。阪神・淡路大震災被災し、神戸市で暮らすの当事者として、清水さん（41）は、神戸市では昨年未だ避難活動を続け、自宅を入居できず、避難先は神戸市で自ら地域に結ぶる活動の場を自ら作りだすことにした。

トイレや生理用品に配慮を 避難所対応ガイド作成

昨年4月に発生した阪神・淡路大震災から22年。避難所の対応に配慮を促すガイドを作成した。避難所での対応に配慮を促すガイドを作成した。避難所での対応に配慮を促すガイドを作成した。

「生きつらさを災害で拍車」
清水さん（41）は、阪神・淡路大震災被災者として、神戸市で暮らす。災害時、声の届く（声）が聞こえずとて震動する間を生きながらしている。阪神・淡路大震災被災し、神戸市で暮らすの当事者として、清水さん（41）は、神戸市では昨年未だ避難活動を続け、自宅を入居できず、避難先は神戸市で自ら地域に結ぶる活動の場を自ら作りだすことにした。

性的少数者の苦悩本に

性転換した清水さん(神戸市)



「生きつらさを災害で拍車」
清水さん（41）は、阪神・淡路大震災被災者として、神戸市で暮らす。災害時、声の届く（声）が聞こえずとて震動する間を生きながらしている。阪神・淡路大震災被災し、神戸市で暮らすの当事者として、清水さん（41）は、神戸市では昨年未だ避難活動を続け、自宅を入居できず、避難先は神戸市で自ら地域に結ぶる活動の場を自ら作りだすことにした。

同性愛者や両性愛者など、性的少数者の存在を知らずとも、彼らと接する機会がある。神戸市では、同性愛者や両性愛者など、性的少数者の存在を知らずとも、彼らと接する機会がある。神戸市では、同性愛者や両性愛者など、性的少数者の存在を知らずとも、彼らと接する機会がある。

違和感克服 半生つづる

「生きつらさを災害で拍車」
清水さん（41）は、阪神・淡路大震災被災者として、神戸市で暮らす。災害時、声の届く（声）が聞こえずとて震動する間を生きながらしている。阪神・淡路大震災被災し、神戸市で暮らすの当事者として、清水さん（41）は、神戸市では昨年未だ避難活動を続け、自宅を入居できず、避難先は神戸市で自ら地域に結ぶる活動の場を自ら作りだすことにした。

徳島新聞 2017年1月27日

神戸新聞 2017年1月11日